

2011年9月20日

DS ファーマアニマルヘルス株式会社

「ライフチップ™インジェクターCA ライフチップ™バイオサーモ」で
特定ロットの一部製品において発生した不具合について

さてこのたび、2011年6月から8月の間に弊社が販売いたしました体温測定機能付きマイクロチップ（製品名：ライフチップ インジェクターCA ライフチップ バイオサーモ）において、その一部の製品で品質上の不具合があることが確認されました。

上記期間に販売したマイクロチップのうち、多くの製品は通常の機能を有し、何ら問題なくご使用いただけますが、一部の不具合のある製品では、マイクロチップの表面のガラス部分に亀裂があり、装着後、時間の経過とともに個体識別番号（ID番号）が読み取れないという現象が認められています。

不具合のある製品は、**個体識別番号（ID番号）が「392148014168683」から「392148014179951」の間のマイクロチップの中に15%程度存在するものと推定しておりますが、番号の特定はできない状況です。**

現時点で、この不具合に起因する健康被害の報告はなく、各種の文献や実験データからも不具合のあるマイクロチップが動物の体内に与える影響はあるとしても、その影響は極めて少ないと考えられます。

なお、該当ロットの ID 番号を装着され、日本国内の登録機関にご登録いただいている飼い主様に、登録機関より別途書面にてご案内させていただきますので、内容ご確認いただきたくお願い申し上げます。

今回の弊社製品の不具合につきまして、飼い主様には多大なご迷惑とご心配をおかけし誠に申し訳ございません。飼い主のみなさまに心よりお詫び申し上げます。

該当ロットの ID 番号を装着された飼い主様で、本件に関してご不明な点、ご心配な点がございましたら、下記フリーダイヤルまでご連絡ください。特に、海外渡航をご予定の飼い主様はご一報お願いします。

 0120-511-022（マイクロチップ専用フリーダイヤル）

※ 2011年9月末日までは平日の9:00～20:00と土日祝日の10:00～17:00で、10月以降は平日の9:00～18:00で受付けております

マイクロチップについての解説はこちらをご覧ください。



<http://lifechip.info/>